

2 水の使用量の変化について(報告文づくり)

名前

田中さんは、水の使用量について調べ、報告文にまとめました。次の報告文をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

水の使用量の変化

五年二組 田中 ひろみ

一 調べた理由

わたしは、ニュース番組で、このまま雨がふらない日が続くと、ますます水不足の心配があり、使う水の制限をしなければならぬだろうと伝えているのを聞いた。「水を大切に」というポスターを学校でもよく見かける。そこで、実際に水の使用量がどのように変化しているのかについて調べ、そこから、わたしたちにもできるよりよい水の使い方について考えることにした。

二 調べたこと

理科図かんと社会科資料集から、水の使用についてまとめた。

(1) 理科図かから

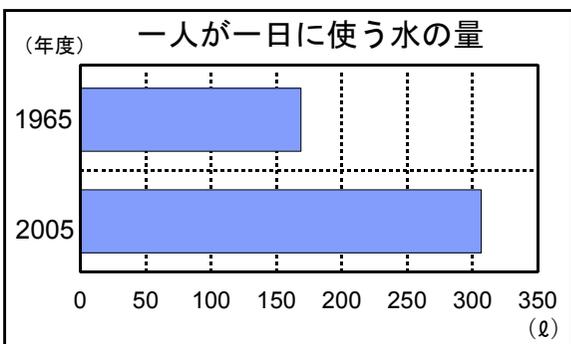
地球にはたくさんのお水があり、地球を何度もめぐる旅をしている。しかし、実際に人間が使えるのは、地球のお水の一万分の一で非常に少ないと言える。

(2) 社会科資料集から

昔、水は川や井戸からくんでいたため、水を運ぶのに、かなりの力と時間が必要であった。せんたくも川でしている人が多かった。家で、かん単に水を使うことができない生活であった。時代の変化によって、家庭に水道が広まり、じゃ口をひねるとかん単に多量の水が出せるようになった。また、家庭用のふるや電気せんたく機、水せんトイレなどもしだいに広まってきた。そのため、一九六五年とくらべて、二〇〇五年には

★ 1

が約二倍になっている。



(国土交通省「日本の水資源」平成20年度版より作成)

三 まとめ

わたしたちが、給食の前や外出の後に水道の水でよく手をあらうことや、毎日ふろに入って清潔にすること、よく衣服をせんたくすることなどは、衛生的で健康的な生活のために、とても大事なことだと思う。その一方で、便利な生活になったことが、水の使用量を増やす原因の一つになっていることがわかった。このまま便利な生活が続くと、使用量はもっと増えることになるかもしれない。しかし、人間が使える水にはかぎりがある。

そこで、水の使用量をできるだけ増やさないためには、どのようなことに気をつけていけばよいのかについて考えた。たとえば、

★ 2

このように、よりよい水の使い方をし、クラスみんなにもよびかけながら、水の使用量を減らす努力を続けたい。

「(2) 社会科資料集から」の中の最後の文は、報告文の中のグラフをもとにして書かれたものです。

★ 1

にふさわしい言葉を書きましょう。

